

○ 小学校社会 第6学年 ③

「戦国の世から江戸の世へ」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関意	思判表	知技理
(1)	参勤交代とはどのようなことであるかについての基本的な知識・理解を問う問題である。	内容(1)－オのうち、江戸幕府の始まりや参勤交代などを中心とした活用問題である。 問題を解く際には、徳川家光になったつもりで書かれた手紙の内容を手がかりに、提示された資料や図表から読み取った情報や既習の知識などを活用して、授業で学んだことを転用させていくことが大切である。			◎
(2)	遠国の大名ほど参勤交代にかかる負担が大きかったという既習の知識もふまえ、日向国に関する資料をもとに参勤時期を判断する問題である。	授業で学んだことを、日向国(現宮崎県)に関する具体的事実に転用させながら、幕藩体制の確立によって江戸幕府による政治が安定したことなどについての理解深化を図ることをねらいとしている。	○	◎	
(3)	既習事項である県名知識と資料情報とを活用しながら、参勤交代のルートを判断できるかをみる基本的な問題である。		◎	○	○
(4)	既習事項である一国一城令を想起しながら、幕藩体制の確立によって日向国においても一国一城となった起因法令を、資料の内容をもとに判断する問題である。		○	◎	
(5)	戦乱がなくなった江戸時代以降においては各大名が新田開発に力を入れるようになったことについて、複数の初見資料を関連付けながら解釈して説明できるかをみる問題である。		◎	○	

